

# 千年の森便り No.139

2015.2.20

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennenomori@hotmail.co.jp](mailto:sennenomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

2月15日(日) 快晴

参加は伊藤、鶴沢、大原、久我夫妻、河野、坂本、中田夫妻と子供達、根本、福島、真鍋、村野、山口、吉澤、総勢20名。

全員で光環境調査の後、手分けしてホテイ岬整備、広場の竹荷物棚製作、植物調査、野鳥調査などに取り組みました。天候に恵まれ、明るい冬の日射しを浴びて、気持ち良く存分に働きました。子供たちも落葉掻きやマダケの節取り、野鳥の観察撮影などに大活躍でした。参加の皆さんお疲れ様でした。(真鍋)



明るい冬の日射しを浴びて

### ○光環境調査

10時から10時半まで、恒例の相対照度調査を行いました。これまでの測定は、夏と冬の2回、島内の14箇所と、巨木林植生保護柵内(30箇所)、外(9箇所)で行ってきましたが、今回からは、森林整備で光環境が変わった場所を中心に、その変化の追跡を目的に実施することにしました。測定を行ったのは、千年広場中央、コナラ更新林の苗畑等の5箇所(表1)です。なお、昨年から測定を始めたコナラ伐採地については、A-1~D-5の20区画で測定(表2)し、その平均値を表1に掲載しました。今回の調査で、最も相対照度が高かったのはコナラ伐採地(82.2%)でした。また、千年広場やコナラ更新林も、67~77%と比較的明るい状況でした。今後は、これらの測定地点の光環境の変化を、追跡していきたいと考えています。(福島)

表1 島内5地点の相対照度の変化

測定箇所	相対照度 (%)					
	2012.7.16 着葉期	2013.2.17 落葉期	2013.7.15 着葉期	2014.2.23 落葉期	2014.7.21 着葉期	2015.2.1 落葉期
千年広場中央	16.4	58.4	16.4	63.9	19.3	71.5
コナラ更新林の苗畑	14.0	61.1	21.7	56.7	22.2	67.6
コナラ更新林ヒメコマツ	42.0	75.3	58.1	77.3	35.7	76.6
岬ヒメコマツ	22.5	54.6	26.6	44.4	27.7	66.9
コナラ伐採地				71.9	64.5	82.2

コナラ伐採地は、2015年2月以降20地点の平均値

表2 コナラ伐採地の相対照度 (%) (2015.2.15)

	1	2	3	4	5
A	79.5	98.0	88.6	97.9	80.8
B	76.9	89.3	91.5	94.2	77.0
C	62.8	89.6	96.7	97.2	75.1
D	56.1	73.7	80.9	78.9	60.3

### ○ホテイ岬整備

ホテイ岬はコナラ等の広葉樹にマダケ林とホテイチク林がまだら模様で生育しているが、これまでマダケとホテイチクをシカ食害から守るため、それぞれ防護柵で囲って一定面積を保護していた。かつてタケノコが食べつくされた姿を見て、防護柵の外側の竹類は次第に消滅するものと想定していたが、マダケはそれほど弱くなく防護柵以外でもそれなりに繁茂して、竹テーブルなどの貴重な資材になっている。

改めて確認すると、かなり密度が高い場所もあり、枯れたマダケも目立つ。このままでは枯れた竹が湖面に流れ出る恐れもあることから、一部を伐採し利用すると同時に、枯れたマダケは湖岸沿いから引きあげて古くなったシカ保護柵の代わりに積み上げた。伐採したマダケは用具置き場の覆い（ブルーシート）の代わりに使うため3m長に揃え、縦割りし節取りした。（伊藤）



伐採竹は屋根材用に縦割り



マダケ節取りには子供たちも活躍



竹荷棚兼テーブル2台完成

## ○竹テーブル兼物置製作

先月作成した竹テーブルの脇に、同様構造で竹の荷物置き棚を2台作成しました。概略寸法は長さ3m×幅75cm×高さ65cmです。前のものより若干低くなりましたが荷物置き棚またはテーブルとしてご利用ください。次回は残材がもう1台分ありますので、南側の古い荷物置き棚を更新する予定です。竹割、節取り、穴掘り、針金掛け作業、ご協力有難うございました。（根本）

## ○植物調査

コセリバオウレンは北側急斜面に数株自生し、清楚な白い花を1輪つけていました。スハマソウは北斜面湖岸の水辺には株数少なく日照不足のせいか株は貧弱で開花前でした。祠山裏の北斜面は倒木散乱し立入困難ですが、スハマソウ10株ほど自生、蕾をつけている株もありました。コセリバオウレン斜面と祠山裏の斜面にミヤマウズラが数株見つかりました。いずれも急斜面を降り、観察・撮影、這いあがるのに大苦戦でした。あちこちにオニシバリが清楚な花をつけ、植生保護柵内にはシュンランが蕾をつけて開花待ちでした。（真鍋）



植物探索は斜面下りと登りに苦戦



コセリバオウレン 中田真也子



スハマソウ 福島



ミヤマウズラ 福島



オニシバリ 中田真也子

今回も子供たちは、色んな活動に首を突っ込んで大喜び。私は私で、がけっぷちを降りていく植物調査隊にこっついていって、ひっそりと咲くコセリバオウレンを観察しました。コセリバオウレンは小さな小さな花。人知れず、こんな季節に咲くのが不思議です。誰を待っているんでしょうか・・・？

豊英島で見つけた「オニシバリ」。枝がなかなか切れないことからのこの名前があるとか。この木はジンチョウゲ科ジンチョウゲ属なんですね。あの強烈な香りのジンチョウゲとは比較になりませんが、微かにさわやかな香りがしました。娘の朱音はスイセンの香りに似ていると言っていました。緑色の花。私は、こういう地味で可愛いらしい花が大好きです。（中田真也子FB記事転載）

## ○野鳥調査

**ウソ発見** ダム工事のため車を鎌田屋旅館に置かせてもらって徒歩で島へ向かいましたが、その途中でウソの声を聞きました。ウソは優しい口笛のような鳴き声から口笛の古語オソから変化した名前です。千葉県ではこの時期にしか見られず、姿も良いので人気の野鳥です。中田家の長男智貴君は小学生ながら野鳥カメラマンとして腕を上げていますので、昼食後に朝来る時に声の聞こえた所へ案内しました。遠くから桜の蕾を食べている3羽が見えましたが、カメラを構える間も無く飛び去ってしまいました。参考までに他所で写した写真を添付します。



ウソ 坂本

## 野鳥記録

ホシハジロ 22 カワウ 7 トビ 4+声 コゲラ声  
カケス声 ハシブトガラス声 ヤマガラ声  
モズ 1 シジュウカラ 2+声 ヒヨドリ 1+声  
エナガ 2+声 メジロ 1+声 ウソ 3+声  
ホオジロ 4+声 アオジ 2+声  
以上 15 種 (坂本)



カワウ 中田智貴君



トビ 坂本

## ヒレンジャク

鳥について坂本さんに色々教えてもらって勉強になったし、帰りにはヒレンジャクも見れてうれしかったです。ありがとうございました。坂本さんの三脚だけ持たせてもらいましたが、重くて驚きました。あんな重いものを持って歩く坂本さんはすごいと思いました。ぼくにはまだこんな重いのは持てないと思いました。ぼくの夢は千葉県にいる全部の鳥の写真を撮ることです。(中田智貴)



ヒレンジャク 中田智貴君

写真は帰り道、上総アカデミアパーク付近で夕陽の逆光に苦戦して撮影したヒレンジャクです。

## 豊英島の気持ちの良い一日

河野真彩也

3ヶ月ぶりに足を運んだ豊英島は何時にも増して気持ちのいい場所でした。そんななか、行った光環境調査は無風だったのもあり、陽射しをたっぷり浴びて快適でした。午後の作業では竹の節剥がしをし、普段なかなか出来ない事を体験しました。室内に籠りっぱなしの仕事をしているので、今日はいい気分転換になりました。

## お知らせ

○3月定例活動日 3月15日(日) シカ個体数調査、ヒメコマツ成長調査 仮設物置更新、倒木処理・植生保護柵補修などの森林整備、植物調査、野鳥調査など計画しています。県民の森第二駐車場 9:30 集合。